

人権学習展開例

第3学年

- 主題名 外国人の人権問題を考える
- 教材名 ヘイトスピーチって何？
- 人権学習の視点 個別的な視点「外国人の人権問題」
- 主題・教材について

平成28年に施行されたヘイトスピーチ解消法を踏まえて、ヘイトスピーチのない社会の実現を目指し、ヘイトスピーチとは何か、どこにどのような問題があるのか、私たちに何ができるのかをともに考えさせたい。なお、展開例については、展開①と展開②はどちらかを選択して行うものになっている。生徒の発達段階やクラスの実態に応じて使用する展開を考えていただきたい。

また、本教材では、メディアリテラシーの一つである、情報を批判的に読み解く力を身に付けさせ、インターネット上にある差別を助長する情報などに対して、どう対処すべきなのかを考えさせたい。

なお、ヘイトスピーチから外国人の人権問題を考えるにあたり、とくにヘイトスピーチの被害に苦しむ在日韓国・朝鮮人の人々の思いを十分配慮して指導しなければならない。ヘイトスピーチの表現は非常に過激で、その様子に嫌悪感を抱く生徒もいると考えられるが、差別の現実から目をそらさず向き合う姿勢を育てたい。また、ヘイトスピーチの背景を正しく理解するためには、本時に先だって社会科の授業等で、日本と朝鮮半島との歴史的な関係を学習することで一層理解が深まると考えられる。

●ねらい

ヘイトスピーチなどの差別的言動を許さない姿勢を培うとともに、在日外国人の人権について考えさせ、すべての人が個人として等しく尊重される社会を目指す意欲・態度を身に付けさせる。

●関連する教材

人権学習資料集〈小学校編Ⅳ〉「13 お互いのことを認め合おう」(第4学年用)
人権学習資料集〈小学校編Ⅳ〉「15 それって本当？」(第5・6学年用)

●本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導 入	○世界の民族・人種に目を向けさせる。	一斉	○世界には多くの民族があり、日本にもたくさんの外国人が暮らしていることを再確認する。	○日本に暮らす外国人の思いに寄り添う姿勢を持たせる。	
	○本時の学習課題を知らせる。	一斉	○本時の学習課題を知る。	○学級に外国につながるのある生徒が在籍している場合は十分に配慮する。	
展 開	ヘイトスピーチとは何だろう。				
	○ヘイトスピーチとは何か理解させる。	個別	○ヘイトスピーチとは何か、提示資料(マンガ)を読んで理解する。	○ヘイトスピーチの定義は固まっていないが、国際的には人種・民族・国籍などを理由に、個人や集団に対して侮辱・攻撃・迫害・差別・憎悪・排除・暴力などを行ったり、それを扇動したりする表現行為であることを押さえる。	提示資料(マンガ) 配付資料①
○ヘイトスピーチの現状を知らせる。	一斉	○特定の民族や国籍の人々以外を標的とするヘイトスピーチも行われていることを知る。 ○実際にヘイトスピーチの街宣デモなどが今でも行われていることを知る。	○具体的な事例として、京都朝鮮学校襲撃事件とその裁判の判決結果にも触れる。		

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
展 開	展開① 「心を殺された。」という李さんの心情を考えよう。				
	◎ヘイトスピーチを受ける在日外国人の思いに寄り添い考えさせる。 【2つの例をどちらか選択する】 →展開①大阪・鶴橋李(リ)さんの思い	個別 一斉 グループ 一斉	○資料にある李さんの言葉から、ヘイトスピーチの被害にあった李さんの心情を個人で読み取り、発表する。 ○ヘイトスピーチが在日外国人に与える影響及び、それ以外の人々にも与える影響を考え、発表し合う。	○自分が李さんの立場だったらどのように感じるか考えさせる。 ○ヘイトスピーチは、在日外国人に生命の危機を感じさせ尊厳を失わせるだけではなく、在日外国人以外の人々にも影響を与えるものであることに気付かせる。	配付資料② ワークシート①
	展開② 崔さんが望む社会とは、どのような社会だろう？				
	→展開②神奈川県・川崎市 崔(チェ)さんの思い ○ヘイトスピーチ解消法の目的・理念を理解させる。	個別 一斉 一斉	○崔さんがヘイトスピーチ主催者に書いた手紙を読んで、崔さんが望む社会を考え、発表する。 ○ヘイトスピーチ解消法は、ヘイトスピーチは差別であり、許されない行為であると宣言したものだ理解する。	○日本人も在日外国人も、お互いの歴史や文化を大切にしながら、存在を認め合い共に生きて行く社会を実現しなければならないと気付かせる。 ○ヘイトスピーチ解消法では、差別的言動の解消のための教育・啓発・相談体制の整備が示されている。この法律が、ヘイトスピーチが許されない行為だということを宣言する大きな一歩だと気付かせる。	配付資料③ ワークシート②
ま と め	○本時の学習を振り返らせ、私たちが目指す社会について考えさせる。	個別 一斉	○私たちが実現すべき社会はどのような社会か、またその社会にするために私たちにできることは何かを考えながら感想を書く。	○一人一人の命と尊厳が守られ、個人として等しく尊重される社会を築くために私たちにできることは何かを考えさせる。	ワークシート

●評価

ヘイトスピーチなどの差別的言動を許さない姿勢を培うとともに、在日外国人の人権について考え、すべての人が個人として等しく尊重される社会を目指す意欲・態度を身に付けることができたか。